

学校教育目標「たくましく未来を拓く児童の育成」

あすなろ

合言葉

「夢に向かって 勉強いっぱい 笑顔いっぱい 元気いっぱい」

令和3年度
大鷹沢小学校たより

<http://ootakasawa-e.shiroishi-c.ed.jp/>



第1号
4月27日

元気に登校・笑顔で帰宅

校長 我妻 聡美

新1年生の4名が加わり41名の児童で令和3年度の学校生活が始まりました。始業式、入学式から3週間が経ちます。子供たちの授業の様子を見ると、学習のきまりが定着し、落ち着いて学習に臨んでいます。

先日の学年懇談会でお話させていただいたように「元気に登校」「笑顔で帰宅」できることが私たち職員の何よりの願いです。交通安全、新しい生活様式に留意し、『自分の命を大切にする』行動をこれからも続けさせたいと考えます。校門や昇降口で子供たちの登校の様子を見てみると、マスクの着用、検温カードの記録も保護者の皆様にご協力いただいているおかげで、定着しています。これらは、自分のため、みんなのために続けていくエチケットなので、引き続きよろしくお願いします。今年度の学校経営方針を『～子供たちの学びをつなぐ 子供たちの心をつなぐ 教員同士がつながる 保護者・地域とつながる』～としました。ぜひ、子供たちの学びのためにご協力をお願いいたします。

自己有用感が子供の自信と社会性を育む

みなさんは、「自己有用感」という言葉を聞いたことがありますか。自己有用感とは、子供の成長の鍵を握る重要な感情の一つです。そのためには、周囲の大人は子供の自己有用感を引き出しながら、上手に育てていく必要があります。

《自己有用感とは》

自己有用感とは、集団で自分が役立つ人間だと感じ取る感情のことで「感謝してもらえた」「喜んでもらえた」というように、何らかの関りがある他人から評価されることによって得られる、他者の存在なしでは得られない感情です。具体的には次のような感情が自己有用感につながります。

- ・ 誰かの役に立っていると感じる
- ・ 誰かに必要とされていると感じる
- ・ 自分に何らかの役割があると感じる
- ・ 自分がいないと寂しいと感じる人がいる
- ・ 自分がいないと困る人がいる
- ・ 自分の存在を認めてくれる人がいる



自己有用感を得るために、「自分でもできる」という子供の自信や集団の一員として社会性を身に付けさせ、自分は価値のある人間だということを理解させたいものです。

令和3年度 大鷹沢小学校職員 よろしくお願ひします

校長	我妻 聡美
教頭	山内 将之
教務主任	武田 英樹
さくら	
あすなろ	高橋 研一
1年	武田 ゆう子
2年	野呂 祐真
3, 4年	日下 美緒
5年	佐藤 由那
6年	坂田 理恵
養護教諭	安部 真紀
主事	菅原 万里花
業務員	石原 彩花
英語専科	本多 恵利子
通級担当	齋藤 由美子
A L T	ブライエン・タレント
育休中	大場 悠

地域の皆様へ いつも子供たちのことを見守っていただきありがとうございます。
登下校の様子等、子供たちのことでお気付きの点等がありましたらいつでも学校にお知らせください。よろしくお願いいたします。 大鷹沢小学校 25-3714